

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より掲げている理念を大切に それにむけて日々努力しています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が日々理念に対し再確認を行い、 ミーティングや日々の業務時に実現に対する 意見交換を行っており、実践に向けて日々取 組んでいます。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時に家族に対して運営規定等に対し 説明しています。又、地域の人々に理解してもら えるよう、地域活動には、なるべく参加させてい たいです。理解してもらえるよう取り組んでいます。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	住宅地には立地して周囲に溶け込 んだ雰囲気作りに心がけています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	定期的に行っている運営推進会議で、自治 会長、民生委員の方達に出席していただい ています。地域の人々と交流が出来るよう、何かと 協力をしていただいております。	○

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>現在の所、自分の所の入居者のことで手いっぱいにて、地域の高齢者等までの取り組みまでには、残念ながらいたっておりません。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しています。外部評価実施後カンパンス等により、改善要項の話し合いなど改善に向けて取り組んでいます。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議開催により、利用者に対してのサービスや取り組み状況等の報告や話し合いを行っている。又、そこで出た意見や希望など何れもが現実となりサービスに活かしています。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>分からないことや、どうしたら良いか？などの時は電話で聞いてみたり、市役所に出向いていたりしてサービスの質の向上に取り組んでいます。又、市担当者の方も近くまで来た時など施設に気軽に顔を話して聞いています。</p>	○
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護や成年後見制度についての研修に出席。又、入居者の方1名については、社協の地域福祉権利擁護事業を便っていた為、全職員も周知。必要な人に活用できるよう勉強していきたい</p>	○
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法についても施設勉強会等を開催し、全職員に身体拘束の重大さが浸透しています。</p>	○

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族が理解、納得を得られるよう時間をかけて説明を行っている。又、利用者、家族等の不安等のある場合、お試し入居など、十分に納得していただいた後に契約を結んだりしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時、利用者、家族には、苦情相談について、文章により明確に説明を行っている。又、日々の生活の中で、意見、不満、苦情などがあれば職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出し対応と配慮してケアを行っている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月一回、入所料の支払い時を便し、家族に1ヶ月ごとの健康状態、金銭管理、その他その時々におこった色々な出来事などを報告しています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時に文章にて説明している(入所契約書・重要事項説明書など)又、玄関入口に苦情相談箱を設置。面会時などにも意見、不満、苦情などがなければ会話している。そこで出る意見、不満、苦情などは全職員のカンパリス時に話し合	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に反映させている。 毎月1回行っているカンパリス時には職員の意見、希望、提案、その他…の聞く機会を設け、反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎月1回のシフト作りには、職員の勤務体制にも配慮し、又、先立って分かっている利用者、家族などの要望等のある場合など、その時々にあわせ柔軟な対応をとっている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ、あまり職員の異動等に関してはありませんが新しい職員が入社した際には入居者へのダメージを防ぐため、先輩の職員と共に行動(仕事)をさせるなど、利用者の方達が馴染みまで様子を見るなど配慮をしています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自由に研修に参加出来るよう、シフトの調整など協力的に行ってくれています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や小規模多機能ケアホーム連絡会などに入会しており、その会の定期的な勉強会など交流する場があり、色々な情報や分からない事、困っている事、その他...勉強させていたがいてはいる。又、それをサービスの質の向上につなげる為には非常に役立っています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減や親睦なども兼ねて、食事会の場やカラオケ大会など配慮してくれています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	働きやすい職場を根柢に、勉強会や研修など職員個々の向上心を大切にしながら働けるよう取り組んでいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居にいたるまで複数回に渡り、入居予定 本人と話し合いをし、受けとめる努力をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居にいたるまで複数回に渡り 家族と話し 合いをし、受けとめる努力をしています。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、入居者と家族が何を必要としている のか？ 今後どのようにしていきたいか？ 良く話し 合いをし、グループホームとして可能な限りのサービス 提供の対応に努めています。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族と良く話し合いをした上で、お試 し入所など無理のないよう、入居者本人が 当施設の雰囲気と徐々に馴染めるよう配 慮しています。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホーム全体が家庭的な雰囲気を保っており 「一つ家根の下、皆、家族」の心算で喜怒哀 楽を共にし、又、職員側が入居者の方達 に話しを聞いてもらったりと、アットホームな関係で ある。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	その時々においては、家族にも相談しながら、ホーム だけのケアだけでなく、家族にも参加していたたい たいと本人を共に支えていく体制に取り組んで おります。	○	
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ちょっとした言葉のくい違いや、思い違いなどで本人と 家族の関係が良くもなり、悪くもなりますが、本人と家 族のより良い関係が築けるよう言葉には注意しな がら本人・家族の思いを双方に伝えたいと支援 しています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者本人の思いを大切にし、お友達や馴染み の場所など本人の訴えがある時などは、あらかじめ め分かる所は連絡を先にとるなどして運んで行 てあげたい、適宜にも来てもらったりとしています。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	T→家根の下、皆、家族!」の心電気を時折 話しており、入居者同士、皆エム助けたり、助け られたいと言う関係で生活を送っています。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族も高齢化してしまっていることもあり、様々 な形で家族に対しても支援を行っております。 近隣の入居者が多く入所しているため、温か なつながりを大切にしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者本人の思いを大切にし、決して無理強いせず、本人のペースにあわせての支援体制作りに取り組んでいます。	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活歴を把握すると共に、その時々々の場面々々においては、出来ることなど手伝っていたり把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人トの記録や、スタッフによる報告など現状を把握するように努めています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月一度、カンファレンス(ミーティング)を行っている。又、本人、家族、医師、看護師、職員などの意見など定期的に聞き、介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の状況や援助内容に合わせて、短期目標を1〜6ヶ月に設定していますが、その時、その時の状況変化にて随時見直しを行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のフォルダを用意しており個人のケース記録をそれぞれ個別に記入している。バイタルチェック、食事、水分摂取量、口腔ケア、洗顔、内服薬・点眼、排泄ケア、その日の行動等様々な角度から入居者をとらえて記入していて、介護計画の見直しに活かしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別ケアの取り組みとしても、本人の要望に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り柔軟に支援出来るよう頑張っています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の消防署や警察署への協力をお願いしている。又、最近では運営推進会議を話し、民生委員や自治会長なども協力的に支援していただいております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の方慮を支援していく中で他のケアマネジャーやサービス事業者との情報を交換は大切なことだと感じており、連絡をとりあたりと話し合いをしています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性を感じた為、何日前にも地域包括支援センターの主任介護支援専門員の方にご相談し、協働して取り組みを行っております。	○	



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	いつでも診察を受けることができる。 医療機関を確保している。 相談、受診、往診等が可能である。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携病院の医師が地域の中で一生懸命認知症の分野で頑張っておられる医師で協力的に診断や治療、相談など支援していただいております。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	在宅訪問後などは気軽に相談出来るよう時間を設けてある。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時は家族の話しや要望を聞いた上、医療機関の医師や看護師と相談し、ホームでの暮らしに戻りやすいよう、そのつど対応しています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族等の要望を聞き、提携病院の医師等に相談しながら毎月に行うカンファレンス等で話し合い、報告し合い共有しています。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	カンファレンス等で全員で意見を交換し、その人それぞれに合ったケアプランを提携病院の医師と相談しながら、その人それぞれに合った取り組みを行っている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	現在の所、職員と一緒に準備や食事をするには困難がありますが、食事後食器を下げていただくなど、能力に合わせて片付けをしていただいています。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の望む飲み物、食べ物など本人からも良くあれが飲みたい!とか、これが食べたい!との希望が出るため、それに添って日常的に支援を行っています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中、夜間の排泄状態について、排泄パターンを職員全員が理解、把握しており気持ちよく排泄できるよう支援しております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在は月曜日～土曜日と入浴を行っております。入浴の長土は個人の希望にあわせております。寝たりの方や、疾病などで基本的に入浴は午前中と決まっていますが、午後からも入浴が自由に出来るようになっております。夏場は午後の入浴希望があまりない場合は差		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	いせいかありません。 一人ひとりのペースにあわせて全職員がケアを行っており夜間に聞こえてくる入居者に対し夜勤者が一緒に時間を過ごすなど工夫しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自立出来る方には、お掃除など行って頂き介助が必須な方は職員が個別に着いて一緒に行うようにしています。又、楽しみごとや気晴らしとして、外食に行ったり、ホームセンターやお店などの散策に出かけたりと支援を行っています。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は施設側で行っていましたが、その時々によって(買い物、孫などに1万円かいやお祝...etc)使えるように支援しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者や家族よりの情報で行きたい場所などの把握をしており、ご希望があればご家族との連絡調整や、ご家族が困難な時には職員にてお連れする等の支援を行っています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠距離は困難ではありますが、市内近郊など入居者一人ひとりの希望に添って外出の機会をつくり支援しています。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたリ、手紙のやり取りが出来るように支援を行っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家庭的な雰囲気と大事にしており、入居者のご自宅に遊びに来るような感覚作りにも努めております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設勉強会等を開催し、運営者及び全職員に身体拘束の重大さが浸透しており、そのケアに取り組んでいます。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関からの出入り時にチャムが鳴る仕掛けが施されており、違和感のない自然な形で安全面に配慮し、そのケアに取り組んでいます。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者の傍には職員がいるように目付けがけている。記録に關しても同じテーブルにて行い、声掛け見守りをして、様子を把握し、安全に配慮しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意を要する物品については、保管場所を定めたり、見えないうちに工夫したり、入居者が出入りする所には、危険物が無いよう管理しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のための施設勉強会などを行って取り組んでおります。事故報告書なども作成しておりますが、開設当初から大きな事故も無く現在まで使用しております。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	各村に關してのマニュアルがあり、施設勉強会等で十分に説明し、全職員が熟知しております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の人々の協力を得られるよう、現在、運営推進会議などを通し、自治会長、民生委員、市職員、家族等に働きかけています。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	家族来設時など、日々の様子や新たに発見 出来たこと、疾病の経過などを報告しており すが、その報告の中で今後、起こり得るリスク などにについても家族等と話し合っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	毎日行っているバイタルチェックや、些細な事でも記入 する気付きシート、排泄チェック表などを作り記 入しており、全職員で活用して入居者の状 態変化の早期発見に努めております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	ケア会議など入居者一人ひとりの疾病や それに関わる薬など全職員が把握してお り、個人ノートなどにも現在の服薬として処方 アールをつけておくなど確認に努めています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	十分な水分摂取やバランスの取れた食事に 配慮し、カラオケや散歩、レクリエーション等 でのストレスの予防に努め、寝たままでは ない限りは清拭時に腹部マッサージを行うなど日々 便秘予防に心がけております。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	食後の歯みがきなど、口腔衛生に配慮 している。食卓に近い洗面台には塩水 やお茶を設置し、うがいを奨励しています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事の摂取量もその都度 記録し、栄養状態の把握をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	管理者は感染症の予防について研修会を開くなど職員が意識するように努めています。インフルエンザなどは職員も含め予防接種を行っています。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のため、台所用品については、消毒が毎日時間を決めて行われ、食材も新鮮な物を使用することに努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	住宅地に立地している。周囲にも溢れ込んだり騒動気作りには心がけております。既存アパートの改造しているホムでは有りますが玄関先の花壇の工事をいい利用者や家族、近隣の人等に親しみやすく安心して出入りが出来るよう騒動気作りの工事をしております。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事やお茶の場所が入居者さんの集まる中心の共用空間となっており、自由に過ごす場所となっている。季節ごとの花飾り等と工夫しています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間として、食事やお茶を飲む場所が入居者さんの中心的な集まる場所ではあるが、その他に、フロアに長椅子などを置き独りになれるような工夫に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人が居心地よく過ごせるように、使い慣れ たものや、馴染みのあるものなど……本人や 家族と相談しながら工夫をしております。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	温度調節は適切に管理しており、エアコン ファン等場所に応じて使い分けながら 利用している。手狭であるが換気は配慮し適 切に行っており、臭気や空気の上よみは感じない ようにしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	既存アパートの改造でありながら、手すり、トイレ 等について様々な工夫を行っている。階段が無 く2Fへはスロープが設置して入居者の安全 と自立した生活を送れるよう工夫している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	入居者本人と家族より承諾書をとっており、 部屋の入口に名前を出してある。又、花や人形 など飾り混乱や失敗を防ぐよう工夫し ています。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	手狭では有りますが、玄関先の花壇を活用 し、水まきや草取り等を入居者さんと職員 が一緒に行っております。ベンチやレジャー テーブル等と置くなどくつろげる空間作りを心がけてお ります。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<del>①ほぼ全ての利用者の</del> ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある <del>③たまにある</del> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<del>①ほぼ全ての利用者が</del> ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が <del>②利用者の2/3くらいが</del> ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が <del>②利用者の2/3くらいが</del> ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<del>①ほぼ全ての利用者が</del> ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<del>①ほぼ全ての利用者が</del> ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<del>①ほぼ全ての家族と</del> ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように <del>②数日に1回程度</del> ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の実践の中で 家族(時には娘のように、時には嫁のように)のようにアットホームな施設作りに取り組んでいます。